



少年課速報

～非行少年を生まない社会づくり推進中～

平成30年



【非行少年等検挙補導状況】

(平成29年中暫定値)

区別 年別	総数	非行少年						不良行為少年	
		刑法犯少年		特別法犯少年		ぐ犯少年			
		犯罪	触法	犯罪	触法				
平成28年	4,374 (779)	571 (96)	396 (62)	175 (34)	50 (6)	38 (6)	12 (2)	2 (675)	3,751 (675)
平成29年	2,865 (463)	487 (69)	326 (46)	161 (23)	53 (4)	42 (3)	11 (1)		2,325 (390)
増減	-1,509 (-316)	-84 (-27)	-70 (-16)	-14 (-11)	3 (-2)	4 (-3)	-1 (1)	-2 (-2)	-1,426 (-285)



※()内は女子で内数

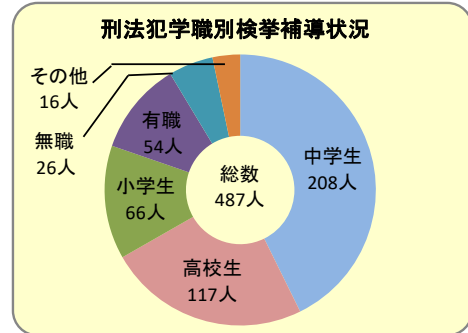
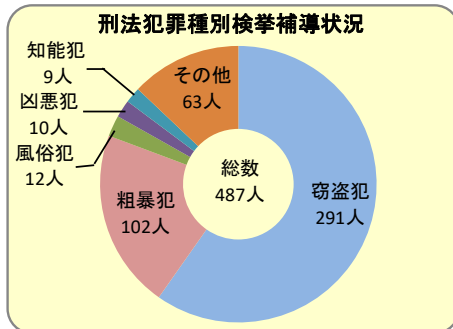
少年の検挙補導状況(平成29年中の暫定値)

平成29年中に刑法犯で検挙補導された少年は487人で、前年に比べ84人減少しました。このうち犯罪少年は326人で70人の減少、触法少年は161人で14人の減少となりました。罪種別では、窃盗犯が291人と全体の59.8%を占め、以下粗暴犯、その他犯罪、風俗犯と続いています。学職別の検挙補導状況では、学生・生徒が407人と全体の83.6%を占め、そのうち中学生が208人で、全体の42.7%を占めました。また、オートバイ盗・自転車盗・万引き・占有離脱物横領の初発型非行については242人で、前年に比べ37人の減少、全刑法犯中49.7%を占めました。触法少年を除く刑法犯少年の再犯者率については43.6%で、昨年より増加しており、罪種別では凶悪犯が77.8%、粗暴犯が67.2%と高い割合を示しています。

【刑法犯犯罪少年の再犯者率】 (平成29年中暫定値)

年別	区分	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	その他	計
平成28年	犯罪少年	6	79	237	74	396
	再犯者	4	42	89	33	168
	再犯者率	66.7%	53.2%	37.6%	44.6%	42.4%
平成29年	犯罪少年	9	61	194	62	326
	再犯者	7	41	77	17	142
	再犯者率	77.8%	67.2%	39.7%	27.4%	43.6%

※再犯者率とは、刑法犯少年のうち、触法少年を除いた犯罪少年の検挙人員に占める再犯者の割合をいい、前回処分は触法少年時の処分・警察限りの措置も含む。



不良行為少年の補導状況(平成29年中の暫定値)

平成29年中に不良行為で補導された少年は2,325人で、前年に比べ1,426人減少しました。行為別では依然として深夜はいかいと喫煙が多く、全体の86.2%を占めました。学職別では高校生が703人と最も多く、全体の30.2%を占め、有職少年、無職少年と続いています。また学生・生徒は1,234人で全体の53.1%を占めました。

